

環境レポート



令和2年 宮崎トンネル開通

取組期間：2020年4月1日～2021年3月31日

株式会社 長瀬土建

2021年度 環境目標

- ① 地球温暖化対策・抑制と、生態系に配慮し施工を行う。
- ② 環境社会活動と、省エネを推進する取り組みを、年間4回以上行う。
- ③ SDGs 経営とグリーンインフラを取り入れた取り組みを推進する。

2021年度 環境部門別目標

総務部

- ① クールビズ(夏)ペレットストーブ(冬)により、電気及び化石燃料の使用を極力減らし再生可能エネルギー利用を促進させる。
- ② 環境ボランティア及び生態系保護活動へ年間3回以上参加する。
- ③ エコ商品の年間10品目以上使用、書類の印刷枚数を15万枚以下とし、資源の有効利用・廃棄物削減、持続可能な環境経営を目指す。

工事部

- ① 建設機械は、排ガス対策型を使用する。また、河川汚濁や粉じん対策を行い、苦情ゼロを目指す。
- ② 環境ボランティア及び生態系保護活動を年間3回以上実施する。
- ③ 工事でリサイクル材料を使用する現場を、年間4現場以上施工する。

本社事務所

目的	目標		
環境意識向上	ボランティア活動の実施回数	実施回数	年間3回以上 会社で企画する活動に参加
廃棄物の削減	用紙裏面使用・資源ゴミの分別収集・3R活動	実施状況	*維持管理 ○又は△ コピー用紙は年間15万枚を超えない
環境に配慮した製品の使用推進	グリーン購入品、エコ商品等の使用	実施状況	*維持管理 ○又は△ 2019年度実績の22品目
社用車の燃料削減	社用車の相乗り、アイドリング時間短縮、点検整備の充実など省エネ活動	実施状況	*維持管理 ○又は△
マニフェスト制度	適正処理施設と契約 マニフェスト管理の徹底	実施状況	*維持管理 ○又は△
廃プラスチックの分別・リサイクル化 (SDGs)	建設混合廃棄物の排出率	実施状況	3%以下
地球温暖化抑制の取組み	クールビズの推進、ペレットストーブ導入を継続	実施状況	*維持管理 ○又は△

各現場作業所

目的	目標		
リサイクル品の利用	再生建設資材の使用	再生建設資材の品目数	年間2品目
廃棄物のリサイクル化	廃棄物を再生処理施設へ搬出	廃棄物の再資源化の品目数	年間2品目
廃プラスチックの分別・リサイクル化 (SDGs)	建設混合廃棄物の排出率	実施状況	3%以下
騒音振動の抑制	低騒音、低振動型機械の使用予定台数と使用率	予定台数の使用率	95%以上
大気汚染の抑制	排ガス対策機械の使用 (モーターグレーダーを除く)	予定台数の使用率	95%以上
環境意識向上	ボランティア活動の実施回数	実施回数	年間3回以上会社で企画する活動に参加
環境に配慮した製品の使用促進	グリーン購入品、エコ商品等の使用	実施状況	*維持管理 ○又は△ 2019年度実績の22品目
廃棄物の削減	余堀のない施工計画・残土の適正処理 間伐材の利用、資源ゴミの分別収集	実施状況	*維持管理 ○又は△
社用車及び重機等の燃料削減	社用車の相乗り、アイドリング時間短縮、点検整備の充実など省エネ活動	実施状況	*維持管理 ○又は△
マニフェスト制度	適正処理施設と契約 マニフェスト管理の徹底	実施回数	*維持管理 ○又は△
グリーンインフラ推進	自然の持つ、防災や水質・大気浄化力などを現場に生かす取組みの提案件数	実施回数	年間4回以上 (会社全体)
環境に配慮した事業	河川汚濁、粉塵対策、環境配慮について取組みの提案件数	実施回数	年間1件以上

環境への取り組み

令和2年4月24日

国道41号線沿線と宮峠トンネル付近の清掃活動を行いました。



令和2年7月17日

ぎふロードプレーヤー 久々野町久須母橋付近の草刈りをしました。



令和2年8月4日

宮 大イチイ周辺の遊歩道を整備しました。



令和2年11月13日

フォレストサポーターズ 牛牧谷林道の草刈りをしました。



令和2年11月13日

国道41号沿線 渚周辺の清掃活動を行いました。



令和1年11月4日

バイカモボランティアに参加しました。



2020年度 環境目標、環境部門別目標の達成状況

環境目標

- ① 地球温暖化抑制と生態系に配慮した取り組みを行う。
- ② 環境社会活動と、省エネを推進する取り組みを、年間4回以上行う。
- ③ グリーンインフラの考えを取り入れた取り組みを推進する。

環境部門別目標

総務部

- ① クールビス(夏)ペレットストーブ(冬)の活用により、地球温暖化抑制の取り組みを継続する。
- ② 環境ボランティア及び生態系保護活動へ年間3回以上参加する。
- ③ エコ商品等を年間10品目以上使用すると共に、書類の印刷枚数を15万枚以下に節約し、資源の有効利用・廃棄物の削減を推進する。

工事部

- ① 工事において、排ガス対策機の使用、河川汚濁、粉塵防止、環境配慮対策等を実施する。
- ② 環境ボランティア及び生態系保護活動を年間3回以上実施する。
- ③ 自然の持つ、防災や水質・大気浄化力などを現場に活かす取り組み・提案を年間4件以上実施する。

目標達成状況

総務部

- ① 事務用品の購入の際、環境に配慮した商品の購入を心がけた。
地域のリサイクル回収を利用し、資源ゴミを排出。
- ② 環境美化ボランティア活動の継続と森林保護活動への積極的協力。
2020年度 環境美化ボランティア活動・森林保護活動 実施一覧

4月24日	ボランティアサポートプログラム 国道41号宮峠付近清掃活動
7月17日	ぎふ・ロード・プレーヤー 久々野町久須母橋付近草刈り
8月4日	宮国有林 大イチイ周辺 遊歩道整備 (名古屋林業土木協会久々野高山支部)
8月27日	外来種植物駆除活動参加協力 (たかやま林業・建設業協同組合)
8月28日	ボランティアサポートプログラム 国道41号清掃活動 (飛騨三協会防災対策協議会)
10月9日	宮川クリーンキャンペーン 雨天中止
11月13日	ボランティアサポートプログラム 国道41号清掃活動 (飛騨三協会防災対策協議会)
11月13日	牛牧谷林道の草刈り (フォレストサポーターズ)

環境美化ボランティア活動の継続については例年に引き続き国道41号道路清掃や、県道の草刈りなどを行った。森林保護活動については、国有林内の清掃活動、草刈り作業、登山道の林道補修を行うなどの活動をしました。また関連団体で企画される道路清掃活動などにも積極的に参加協力をしました。

工事部

- ① 従業員や地域社会における環境意識の促進と、廃棄物の削減による地球温暖化の抑制に努力する。
- ② 環境意識の推進については、会社での毎月2回の朝礼、現場での安全朝礼等と工事部の計画に基づく教育訓練を通じて行った。また緊急事態での環境影響に対応する訓練などを行った。特に建設現場においては気象の影響が非常に大きいため、土砂・油の流出措置、火災への対応を行った。また環境意識の向上のために、毎月の社内パトロールで環境影響を及ぼす項目のリスクのチェックを行い、廃棄物の削減などにも不十分な点があれば指摘し現場責任者に改善を促した。

事業活動による廃棄物の削減

紙の再生利用、資源ゴミの分別収集について
コピー用紙の使用状況

平成31年度

単位：枚

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計
10,500	14,000	11,500	7,000	40,000	2,500	11,000	4,500	14,500	14,000	6,500	7,000	143,000

令和2年度

単位：枚

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計
3,500	8,500	8,000	11,500	16,000	6,500	7,500	9,500	11,000	6,000	5,000	13,000	106,000

令和2年度は目標値の15万枚を大きく下回ることができた。次年度以降も継続して印刷時におけるプレビュー機能及び両面・裏紙印刷を利用し、使用枚数が減少するよう気を配り作業等していくよう周知したい。

建設業廃棄物について

排出量（t）	木くず	AS魂	コンクリ殻	廃プラ	その他	合計
平成31年度	220.5	1197.92	356.11	3.18	8.63	1786.34
令和2年度	48.93	3096.9	718.38	0.9	5.79	3870.9
前年度比	▲ 171.57	1898.98	362.27	▲ 2.28	▲ 2.84	2084.56

建設業廃棄物については、工事件数・工事内容により廃棄物の構成が異なるので前年比較はしにくいですが、令和2年度の建設廃棄物合計は3870トンで、前年度に比べて2084トンの増量となりました。

再生建設資材の使用については下記の通りです。

資材名	全体の利用量	再生資材利用量	再生資源利用率
再生生コン	883.0	883.0	100.0%
再生密粒度アスコン	4252.1	4174.1	98.2%
砕石	22739.8	1899.0	8.4%
土砂	9660.0	9660.0	100.0%
木材	0.0	0.0	0.0%
塩化ビニール管・継手	0.0	0.0	0.0%

単位：t

令和2年度 建設廃棄物量

